



無線中継ボックスのアラーム音について

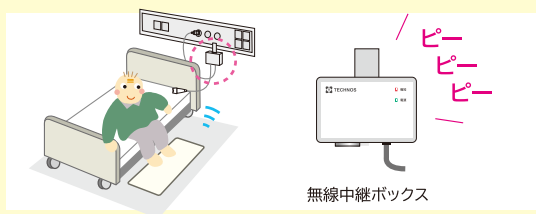


無線中継ボックスからアラームが鳴りやみません。
毎回電源を入れ直しアラームを止めています。対処方法を教えてください。

無線中継ボックスからのアラームはセンサーの電池切れのお知らせです。
すぐに新しい電池に交換してください。そうするとアラームは止まります！



症状 センサー内の電池が消耗すると、センサー作動後、無線中継ボックスのアラーム音(ピーピーピー)が鳴ります。



対処 センサーの電池を交換するとアラームは止まります。

電池交換方法

①センサーから送信器をゆっくりと取り出します。

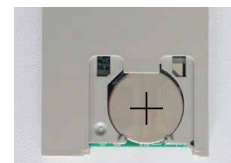


※この時引き出しすぎると配線が切れますのでご注意ください。

②送信器のフタを開けます。



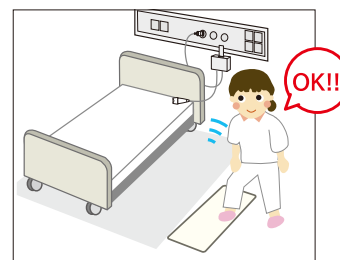
③電池(型番CR2032)の向きを確認し交換します。



④フタを閉め、送信器を戻ししっかりと口を止めます。



⑤その後センサーを作動させ、アラームが鳴りやんだか、また、正常動作しているかご確認ください。



対象

ナースコールに連動する コードレスセンサー(微弱電波)

電池寿命

電池寿命:1日5回のセンサー作動で3年間 ※Xシリーズのセンサーは除く

点検

1日1回の点検を推奨しています。アラームが鳴り始めたらずちに電池交換をしてください。

その他のセンサー

Xシリーズのセンサー(特小用)の電池消耗は専用受信器側で知らせます。

ハイパー受信器 →報知停止後に、該当チャンネルのLEDランプと、電池マークが同時に点灯する。

スマート/ポータブル受信器 →報知時に画面に送信器 マークが出る。

シンプル →報知停止後に、該当チャンネルのLEDランプが紫色に点滅する。